



令和6年2月26日 発行
 東京都立しいの木特別支援学校
 校長 濱渦 孝治
 担当 鈴木 拓
 電話 0436-66-2790

第10号
 (学校便り)

令和5年度学校評価報告 (概要)

校長 濱渦 孝治

令和5年度学校評価アンケートにつきましては、本年度より、Forms を利用したインターネットによる回答をお願いいたしました。御理解、御協力ありがとうございました。学校評価アンケートの集計結果を基に、本校の成果と課題の概要を御報告いたします。

最初に、学校評価アンケートからみえる本校の成果ですが、「本校は、児童・生徒の人権を尊重した接し方や指導を行っていますか。」の質問に対し100%の肯定的な評価を頂きました。「人権を尊重」することは当たり前のことですが、本校が令和4年度から2年間に渡り東京都教育委員会が指定する人権尊重教育推進校として、日頃の取組を人権の視点から見直した成果であると考えます。

本校の人権尊重教育は、以下の3つの柱を基本に推進しました。

- 全員が取り組む「基本となる児童・生徒の人権尊重」
- 分科会 A 日々の授業を通して「自己の人権」「他者の人権」の意識を高める「人権尊重教育の推進」
- 分科会 B 学校と施設の連携について、ケース支援会議を充実させていく「施設と連携した人権尊重」

これまでの研究の成果を活かし、次年度以降も全教員が人権尊重を礎にした指導を行っていきけるよう努めてまいります。

一方で、学校評価アンケートからみえる本校の課題としては、「キャリア教育に関すること」が挙げられます。キャリア教育とは、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」です。本校の児童・生徒が、学校卒業後の「生活の拠点」や「仕事(福祉就労を含む)」がどのようなものとなるのかを、保護者の皆様、両施設職員の皆様、関係機関等と共に考え、発信できるよう努めてまいります。また、キャリア教育は小学部段階から行われているものであり、日々の学習の積み重ねが、児童・生徒の主体的な進路選択、職業生活の中での自己実現につながっていきます。児童・生徒の日々の学習活動が、キャリア教育の視点からどのように社会的・職業的な自立につながっているか、学校全体、教員間で共有できるよう努めてまいります。

Don't worry, Be happy～心配ないさ、楽しくやろう～

2月9日(金)に令和5年度しいの木祭が開催されました。今年度のしいの木祭のスローガンは「Don't worry, Be happy ～心配ないさ、楽しくやろう～」でした。「日々の不安や心配を忘れて、心からしいの木祭を楽しもう」という意味が込められています。今年度も昨年度と同様、各学部で撮影した動画視聴と授業で作成した作品の展示を行いました。どの学部も日々の学習の積み重ねが光る動画となっており、とても楽しい時間となりました。

また、開会式では文化部としいの木祭実行委員によるバンド演奏やダンス発表が、午後には高等部3年生の舞台発表がありました。どちらの発表も日々の練習の成果を発揮し、生徒一人ひとりが輝いていました。動画を鑑賞している児童・生徒の表情には笑顔が見られ、スローガンにぴったりのしいの木祭になりました。

プレイルームには、各学部の作品を展示しました。普段授業で使用するプレイルームが児童・生徒たちの作品で素敵なしいの木美術館となりました。

ご参観いただいた保護者の皆様、関係機関の方々、ありがとうございました。

(文責：郡 愛裕)



小学部展示の様子



高等部展示の様子



中学部展示の様子



各学部動画視聴時

3月の予定

1	金	防災教室、避難訓練
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	短縮授業日 (13:50 下校) 身体計測 (小学部)
6	水	身体計測 (中学部)
7	木	身体計測 (高等部)
8	金	授業参観日、全校保護者会 身体計測 (高等部) 短縮授業日 (14:40 下校)
9	土	
10	日	
11	月	しいの木集会
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	卒業式予行 第Ⅲ期現場実習終
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	春分の日
21	木	給食終
22	金	卒業式
23	土	
24	日	
25	月	修了式
26	火	春季休業日始 保護者通信発送日
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

令和6年度

1学期始業式 4月8日(月)

入学式 4月9日(火)

小学部

小学部のしいの木祭の動画発表は、「The Best of Treasure 海賊王への道」でした。タイトルにもあるように、一人の海賊が海賊王を目指し、各島で仲間を集めながら財宝を探すストーリーでした。授業で学んだ成果を発表できるように、生活単元学習等の授業の中で、児童の好きなことや得意な活動を取り入れて練習を積み重ね、編集して動画を作成しました。テーマに合うよう大道具や背景画も児童が授業の中で制作しました。しいの木祭当日は、保護者や施設職員の皆様と動画視聴や全校ダンスを楽しむことができました。お褒めの言葉や励ましの言葉をくださり、ありがとうございました。今年度も残すところ1か月となりました。子どもたちと過ごす時間を大切に、指導に努めてまいりますので、今後ご協力よろしく申し上げます。

(文責：山田 麻衣)



中学部

作業学習では、1組が軽作業、2組が陶芸活動を行っています。

1組の軽作業では箸入れ、ペットボトル解体、ボールペン組み立て等を行っています。生徒2人ができる作業種が年度当初より増えたり、集中して取り組める時間が長くなったりと、成長を感じることができました。

2組の陶芸活動では、当初は粘土に触ることに抵抗感があったり、初めての工程に戸惑ったりしていましたが、現在は箸置きとマグネット作りを行なえるようになりました。最初に20グラムに粘土を丸め、次に粘土を延ばす工程と型抜きを行い、形を整え、最後にみんなで色とコート剤を塗って、焼き上げています。今後は、出来上がった製品を校内・近隣へ配布し、活用していきます。(文責：江口 太郎)



高等部

高等部の、しいの木祭動画発表は「しいの木のメリーゴーランド～出会いをめぐって～」というタイトルでした。計画的に準備を行い、1学期の音楽から取り組みを始めました。2学期からは、台本に合わせて撮影を開始しました。動画には学校の畑で収穫したお茶や大根などの収穫物を取り上げたり、修学旅行先での見学内容を盛り込んだり、学校生活や行事が所々反映されている内容でした。衣装を着ての撮影やブルーバックでの撮影も、回を重ねるごとに慣れ、たくさん笑顔を見せながら楽しく撮影作業に取り組んでいました。高等部では現場実習や個別の進路の取り組み等のために、しいの木祭当日に不在になってしまった生徒の頑張りも、発表動画の中では表現されていて、参観された方にご覧いただくことができました。しいの木祭の発表は、生徒にとっての一大イベントです。生徒それぞれが得意なことを発揮し、一つの目標に向かって協力し合う体験を通して、生徒達は達成感を得て、成長と自信につながりました。

(文責：古山 武)

